

# 大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：石塚委員（一部事務局修正）

|                     |                                   |       |       |       |        |
|---------------------|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------|
| (1) 会議の名称           | 大田区自立支援協議会 第8回 防災・あんしん部会          |       |       |       |        |
| (2) 開催日時            | 令和4年7月6日（水） 13：30 ～ 15：30         |       |       |       |        |
| (3) 開催場所            | 障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室          |       |       |       |        |
| (4) 出席した<br>委員、事務局等 | 委 員（部会長：志村 陽子）                    |       |       |       | <敬称略>  |
|                     | 山内 京子                             | 石塚 由江 | 福田 美和 | 蛭子 明子 | 一色 ふみ子 |
|                     | 栗田 修平                             | 生駒 友一 | 棧敷 洋子 |       |        |
|                     | 事務局：森合 美穂、秋山 仁志、大本 哲也、江川 奈保美、堀内 蘭 |       |       |       |        |

## 1 連絡・確認事項

- (1) 司会・書記の確認（司会：栗田委員、書記：蛭子委員）
- (2) 出欠者・配布資料の確認
- (3) 大田区自立支援協議会交流会の日程変更について  
日時：令和4年10月19日（水）午前  
場所：障がい者総合サポートセンター A棟5階 多目的室

## 2 前回の振り返り

第7回専門部会の議事録・ご意見カードの確認。

前回専門部会は出席委員が少なかったので改めて本日参加者に交流会のテーマについて思ったことを聞きたい。

- ・色々な障がいのある方の苦勞を知る。部会と同じようなイメージ。
- ・ワールドカフェ。お互いの障がいを知るために、困りごとや障がいあるあるなど、素直に話し合えるといい。
- ・わざわざ交流会を開かなくても、いつでも障がいのある方が来られて交流できる場所があるといい。
- ・交流いいと思う。準備などどうしたらいいのか。
- ・お互いの障がいを理解できる場
- ・以前どうぶつカフェ、ゲームカフェなどをやったことがある。障がいも幅広いし最初から信頼関係を築くのは難しい。楽しいことをしながらだといいのでは。
- ・気さくにお互いのことについて話し合う。縛りは取り払ってもいいのでは。

## 3 議題

### (1) 専門部会委員交流カフェ（仮）について

#### (ア) 交流会のテーマ

- ・視覚障がい者が多数参加の場合・手話通訳の人数がきびしいのではないかと。  
⇒今回は部会内なので人数は多くなりません。また、あと2名手話通訳を増やせる。  
その先はまた考える。
- ・グループ分けが難しいのではないかと。
- ・それぞれの立場での困り事を話し合う。
- ・地域のスーパーなどの情報交換。聴覚障がいのある方はタイムセール開始の

放送が聞こえないため、プラカードなどがあるといい。

- ・知的障がいのある方の家族の話など、自分が知らないことを聴きたい。
- ・差別や虐待など感じていることを聞けるといい。
- ・利用しているアプリの共有
- ・なれてきた場所で手伝いを申し出られても、すでに必要ない場合もあるが受け入れている。
- ・障がい者である我が子の困り感など自分のこととして伝えていきたい。
- ・フランクに話せる場。衣食住や地域ごとのテーマはどうか。

(イ) 交流会の開催方法

- ・グループ分けをして開催する。
- ・いくつかお題を提示してグループごとに選んで話していく。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、食べ物は無しで飲み物は各自用意する。
- ・作業部会で約束事やルールを決めて行うのがよい。

(2) 今年度の部会の活動予定について

(ア) 講師との打ち合わせ内容の報告

・講師：防災まちづくり研究会 阿部慶一氏

- ①災害対応カードゲーム 「クロスロード」を用いておこなう。
- ②災害時に備えてどのような準備をしているか等。

(イ) 準備

①災害時の困りごと集約

- ・マンション在住者は在宅避難を勧められているが知らない人が多い
- ・在宅避難をしているとわかる方法
- ・マイタイムラインとクロスロードの違い
- ・在宅避難時のトイレ
- ・耐震工事済みなので在宅避難可だが視覚障がいがあり、自宅内の状態がわからない。安全かどうか誰か確認に来てくれるのか。
- ・避難判断の基準を知りたい。

②冊子「在宅避難に役立つ7つのこと」を見てある程度把握してほしい。

- ・9月の意見交換に向けた準備

4 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

(2) ご意見カード記入

※次回の日程

作業部会：令和4年7月12日（火）13時30分～15時30分 さぼーとぴあA棟3階集会室

専門部会：令和4年8月3日（水）13時30分～15時30分 さぼーとぴあA棟5階多目的室